

'76BL MINI CLUBMAN ESTATE

'76 BL ミニ クラブマン エステート

木枠をまとった快適仕様のクラブマン・エステート

photo= 池田志信 shinobu ikeda text= 清原直樹 naoki kiyohara

special thanks= インベリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780 http://www.imperials.jp

'69年にそれまでのミニ顔とは異なるフェイスをもつミニとしてシリーズに加わったクラブマン。カントリーマン、トラベラーと同様に、このクラブマンにも長モノのモデルが用意された。それがこのクラブマン・エステートだ。サルーンのクラブマンのボディをさらに約100mm延長し全長3400mmとなり、全ミニシリーズ中もっともロングボディのクルマとなった。

オーナーの大丸大樹さんも、そんなクラブマンの個性的な顔に魅了されたひとり。中学生の頃から憧れだったミニのなかでも、長モノ、それもクラブマンがお気に入りだったとか。快適に日常使いできるクラブマンが欲しかったということで、大丸さんがお願いしたのが「インベリアルクラフト大阪」。快適仕様のクラシックミニ製作を得意とするスペシャルショップだ。まずは良好なクラブマンのボディを英国から輸入してフルレストア、そこに1300インジェクションエンジンを搭載して、さらに細かい

温度調節が可能なエアコンもビルトイン。センターメーターやセンターキー、そして、カントリーマン&トラベラーの木枠移植といったディテールにも大丸さんのこだわりが反映されている。実はこのクルマはまだ納車前で、撮影当日、大丸さんは作業見学に来られていた。その仕上がりに大変満足のご様子の大丸さんであった。

大丸さんの強いこだわりでカントリーマン&トラベラーの木枠をクラブマンに移植。

クラブマンのオリジナルシートはすべてブラウンで張り替え。ステアリングはMk1タイプ。

Custom point

- エンジン:1300cc
- インジェクション
- ミラー:TEXドアミラー
- 木枠:カントリーマン、トラベラーのものを流用
- メーター:センターメーター
- エアコン:インベリアルクラフトオリジナル



01.前期型(『MINI』の文字が入るが、後期型はこのレイランドロゴに。このエンブレムのファンは多いはずだ。02.ドアミラーは定番のTEXをチョイス。03.日常使いにおける快適性を重視してエンジンは1300ccインジェクションに転換されている。



01.10インチの足にはクラシックに鉄ホイール。02.ドアの内張りもブラウンで張り替えてシックな装い。03.日常使いを想定する大丸さんはATをチョイス。04.センターキーの下にエアコンを設置。細かな温度調節が可能な優れたモノ。05.リアシートも内張りにあわせてブラウンで張り替えてある。06.センターメーターも大丸さんがこだわったディテールのひとつ。



Owner:
大丸大樹さん

このクラブマンが初めてのクルマという大丸さん。中学生の頃から憧れだったミニのオーナーになることに感激もひとしおのご様子。職業はカメラマン。クラブマンはロケ車としても大活躍する予定!?